

むかでの使い

滋賀県

むかし。

あるとき、山の中で、むかでとかえるが出会いました。そして、

「いっぺんお酒でも飲んでごちそうを食べよう」ということになりました。

むかでは、

「かえるさん、かえるさん。おまえはこの山を下りて行って、下の村でお酒を徳利に一杯買って来ておくれ。おれは、ごちそうを買って来よう」といいました。かえるは、

「うん、そうしよう」といって、山を下りて行きました。一生懸命はねて行って、村の酒屋で、お酒を徳利に一杯買いました。それから、また、一生懸命はねて、帰ってきました。

かえるが、家に着くと、むかでが入り口の所で、なんだかもぞもぞしています。

「むかでさん、むかでさん。何をもぞもぞしているんだい」と、かえるがきくと、むかではいいました。

「あ、かえるさん。ごちそうはまだなんだ。わらじが、まだぜんぶはけないんだよ
おしまい。」

村上郁再話

資料『昔話―研究と資料2』「滋賀県長浜昔話集」三田村耕治／三弥井書店